



総合教育センター 准教授

溝上 広樹 MIZOKAMI Hiroki

E-mail/hmizokami@ed.sojo-u.ac.jp

研究業績
データベース



高大接続を見据えた アントレプレナーシップ教育に関する実践的研究

～「総合的な探究の時間」に接続する教育プログラムの開発・実践・評価～



研究シリーズ概要

2023年に閣議決定された教育振興基本計画では、起業家教育（アントレプレナーシップ教育）の推進が掲げられ、将来的には全国の小中高生がアントレプレナーシップ教育を受けられるようにすることが目標として設定されています。アントレプレナーシップ醸成段階の教育では、社会に存在する課題を自分事として捉えることや、課題の発見力や共感力を育むことを入口に、未来創造や課題解決に向けた行動を起こしていく態度を養っていくこと等が示されています（文部科学省、2021）。このような中で、高校の「総合的な探究の時間（自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を自ら発見し、解決していく学び）」との接続も見据えた、教育プログラムの開発・実践・評価について研究を行っています。

※文部科学省（2021）アントレプレナーシップ教育の現状について：科学技術・学術審議会産業連携・地域振興部会



利点・特長・成果

- 課題設定：省察を促し、課題を自分事化し練り上げていくプロセスについて支援できます。ここでは、アクティブ・ラーニングの視点、キャリア教育の視点を含んでいます。
- 評価：学習活動の目標設定や振り返りを促すための評価ツールとしてのルーブリックについて、支援できます。
- 職員研修：アントレプレナーシップ教育と探究活動は、いずれも学習者自身のキャリア（人生・生涯）に関わる課題を解決していく活動になります。学習者を支えるための職員養成について支援できます。

その他の研究シリーズ

- 看図アプローチ等を利用した主体的・対話的で深い学びに関する授業デザイン
- 生成AIを利用した問いづくり等の授業デザイン
- 職員研修を通した学び合いのコミュニティ形成支援



キーワード アントレプレナーシップ教育、探究活動、省察、学び合いのコミュニティ形成

本技術に関し、対応可能な連携形態（サービス）

知財活用	可	技術相談	可	共同研究	可
施設機器の利用	可	研究者の派遣	可	技術シーズ 水平展開	可

開発段階

5	第5段階	製品・サービス化（試売／量販）段階	2	第2段階	試作（ラボ実験レベル）段階
4	第4段階	ユーザー試用段階	1	第1段階	基礎研究・構想・設計段階
3	第3段階	試作（実証レベル）段階			

SDGsの目標

4 質の高い教育を
みんなに

